

令和 2 年度

第 2 回在宅医療・介護連携推進協議会

会議録（要旨記載）

日時：令和 2 年 11 月 26 日（木）午後 1 時 30 分～
会場：湖西市健康福祉センター 3 階 小会議室

1. 出席者

委員

伊藤 健（浜名医師会）
牛田 知宏（浜名医師会）
尾崎 宏嘉（浜名歯科医師会）
塩野 州平（浜松市薬剤師会）
内山 大輔（介護老人保健施設まんさくの里）
鈴木 織江（浜名病院地域医療連携室）
夏目志津子（市立湖西病院在宅支援室）
前田 幸代（訪問看護ステーションはまな）
松井 喜恵（湖西市訪問看護ステーション）
浅井 恵子（ケアプランセンター陽菜）
稲本 直子（サンシティあらい）
吉田 朝子（湖西市社協介護センターこさい）
山下いづみ（浜松市医師会 在宅医療推進員）

事務局

石田 裕之（長寿介護課長）
琴岡 文乃（長寿介護課長寿係長）
尾崎里佳子（長寿介護課保健師）
白井まり子（在宅医療・介護連携支援センター相談員）
村越 正代（健康増進課長）
小野田健児（健康増進課課長代理）

2. 会議次第

1. 開会 挨拶

2. 議事

- (1) 市民への在宅医療講演会について . . . 資料 1
- (2) 湖西市版エンディングノートについて（途中経過報告）
- (3) 在宅医療データベース調査結果について . . . 資料 2（当日配布・回収）
- (4) 湖西市の地域医療の状況（健康増進課） . . . 資料 3
- (5) お助けブックについて . . . (当日配布)
- (6) 令和 3 年度の多職種連携研修会について . . . 資料 4
- (7) 強みと弱み目指す姿 . . . 資料 5
- (8) その他

3. 次回案内

次回 2 月 2 5 日（木）予定 3 月 4 日（木）予備日

3. 会議内容（要旨記載）午後1時30分開会

1. 開会あいさつ	伊藤会長）議事進行に入ります。ご協力をお願いします。
2. 議事	
（1）市民への在宅医療講演会について	<p>事務局説明（資料1参照）</p> <p>開催日時は12月26日（土）14時から15時30分の予定でおよび研修室にて開催とする。</p> <p>伊藤会長挨拶・市長挨拶・講話・訪問看護の紹介・マイエンディングノートの紹介を行う予定である。</p> <p>コロナの感染拡大防止のため会場で参加する方法以外に「ウインディ」の協力で録画・DVD作成したものを後日、数回に分け上映する予定である。（web配信だと操作方法がわからない方も多いと考えられるためこのようにさせて頂いた。）</p> <p>伊藤会長）質疑応答ないか。</p> <p>一同）質疑応答なし。</p>
（2）湖西市版エンディングノートについて（途中経過報告）	<p>事務局説明</p> <p>2021年2月に2021年版を発行予定である。</p> <p>P17及びP18に湖西市独自の記載がある。変更や追加があればご意見を伺いたい。</p> <p>配布状況だが今年度はコロナの影響で会議や出前講座など減少したため配布機会が少ない。現時点で300冊程度である。</p> <p>伊藤会長）意見、追加等ないか。</p> <p>前田委員）エンディングノートの活用状況・評価について教えて欲しい。評価する目安等は？</p> <p>事務局）地域包括支援センター職員が戸別訪問の際に持参。説明を行い希望があれば配布している。他に広報等で告知、長寿介護課の窓口でも説明を行い配布している。特に評価は行っていないが今後必要であれば課内で検討する。</p> <p>伊藤会長）市民がどのように活用しているのかということだが、まだ開始して間もない為、地域包括支援センターを中心に広め、いろいろご意見を頂きながら活用・継続していきたい。</p> <p>一同）意見、追加なし。</p>
（3）在宅医療データベース調査結果について	<p>事務局説明（※資料2は個人情報記載の為、当日配布し回収。議事録記載は一部分となります。数値は訪問看護の常勤換算人数以外は令和元年度の実績となります。）</p> <p>3師会への在宅医療対応情報アンケート回収お礼。</p> <p>a. 医師会調査結果</p>

	<p>訪問診療対応可能診療所＝１２／２６診療所（４６％）</p> <p>平均年齢＝６２．６歳（市立湖西病院・浜名病院・安達産婦人科小児科医院除く）</p> <p>内科対応医師１３名の平均年齢＝６１．５歳</p> <p>訪問診療実件数＝８１件</p> <p>訪問診療延訪問回数＝６６０回</p> <p>b．歯科医師会調査結果</p> <p>訪問診療可能歯科医院（条件付きも含む）＝１４／２０歯科医院（７０％）</p> <p>訪問歯科診療実件数＝８８件</p> <p>訪問歯科診療延件数＝３６７件</p> <p>c．訪問看護ステーション調査結果</p> <p>新規契約者＝１４０名</p> <p>延訪問回数＝１２．６９０回</p> <p>現時点での常勤換算人数＝看護師（１０．９名） ＝理学療法士（２．６名） ＝作業療法士（２．３名）</p> <p>d．薬剤師会調査結果</p> <p>訪問薬剤指導の応需可薬局（状況に応じ可も含む）＝１９／２２薬局（８６％）</p> <p>訪問薬剤指導実績実件数＝７４件</p> <p>訪問薬剤指導実績延回数＝７３５回</p>
（４）湖西市の地域医療の状況（健康増進課）	<p>健康増進課説明（資料３参照）</p> <p>湖西市は市内２６医療機関の協力を得て休日医療の体制を整えています。市立湖西病院・浜名病院に於いては夜間・救急３６５日対応をしている。２４湖西医会の協力を得て休日診療を依頼している。伊藤会長）一医療機関当たりの受診者はコロナ以降減少している。</p>
（５）お助けブックについて	<p>事務局説明（配布資料）</p> <p>１１月１６日（月）にワーキンググループ（協議会委員の有志）にてお助けブックの内容を確認、検討を行い作成。データベース（Ａ～Ｃ）、別冊湖西市退院調整ルール、別冊社会資源は令和３年１月公開の予定。</p> <p>伊藤会長）意見等ないか。</p> <p>一同）意見なし。</p>

<p>(6) 令和3年度の多職種連携研修会計画について</p>	<p>事務局説明(資料4参照)</p> <p>昨年の協議会にて年4回開催と決定している。</p> <p>来年度4回行うとすれば、早めに計画したい。次回にはテーマを決めたい。</p> <p>過去の多職種研修終了後のアンケートに記載があった研修希望内容について一部報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症について ・認知症専門医の講話 ・認知症のリハビリについて ・歯科診療について ・口腔ケアについて ・精神障害について ・家族の精神障害とも関連のある8050問題やひきこもり等 ・災害時の対応について <p>上記の他に前年度予定していた浜松医大の井上真智子先生のACPの最終講義がコロナの影響で行えていない。きちんと終了したいという意見もある。</p> <p>伊藤会長) ACPについてはコロナ禍で講師を依頼することが難しく、9月以降になると思う。講師依頼は3か月前に依頼する必要があるので次回にはおおよそ確定したい。各職種で身近で専門的な話など希望があれば申し出てもらいたい。2月の協議会にてそれぞれの案を出してもらい協議し確定したい。決定事項は変えないようにする。</p> <p>山下委員) 社会状況が変化していく中で、研修確定しても変更する必要が出てくることも考えられる。その対応についてはどのように考えているのか。</p> <p>牛田委員) 医師会でシスコのUIベックスのシステム購入。今後web配信も行うようにしたい。また、湖西市が「ウインディ」と協定を結んだのでYouTube配信等の活用を進めて行く。</p>
<p>(7) 強みと弱み 目指す姿</p>	<p>事務局説明(資料5参照)</p> <p>赤字の部分が昨年度からの変更部分。</p> <p>連携が図りやすくなっているのではないだろうか、弱みを強みに変えて行くためにということでご意見を頂きたい。</p> <p>伊藤会長) 弱みの中の内容から次回研修の内容を選ぶのも良いと考える。</p> <p>牛田委員) この資料5の様式は名古屋での研修時に当時の長寿介護</p>

	<p>課の担当者と作成したものである。この土台に継続して追加し作成しているが、強み、弱みなどうまく研修会に反映できるような書式等、考えても良い時期だと思う。</p> <p>山下委員) みんなで作成ということですか？</p> <p>牛田委員) そうということです。研修会等みんなで見直しても良いと考える。文章の修正だけで見にくくなっている部分や強み、弱みの部分も変わってきているかもしれない。</p> <p>山下委員) 地域で活躍されている多職種が感じる湖西市の強みや弱さとは違うということも考えられる。</p> <p>牛田委員) 市内でもエリアによって違う感じ方があるかも知れない。</p> <p>前田委員) ここにあがっている内容は声が上がっているのか、アンケートなどの結果なのか。そうでないようなら実情把握が必要だと思う。</p> <p>伊藤会長) 弱みに記載しているが、もう強みに変わっているなどの意見もアンケートで回答して欲しい。</p>
(8) その他	事務局説明)「連携お助けブック」印刷物の対応について
3. 次回案内	<p>伊藤会長) 次回協議会開催は2月25日(木)の予定。</p> <p>令和2年度第2回在宅医療介護連携推進協議会を終了する。</p>